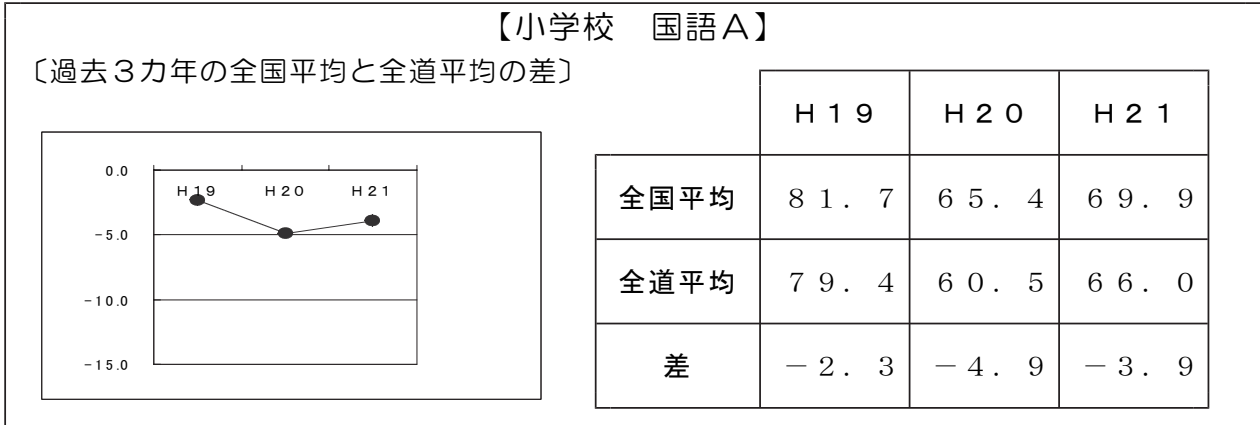


イ 3年間継続して課題となっている設問の分析と改善

【小学校国語A】

○ 経年比較

小学校国語Aにおける全国と全道の平均正答率の差について、過去3年分の比較をしています。



○ 3年間継続して課題となっている設問の状況

3年間の設問別調査結果の中から、平均正答率が60%未満の設問と正答率の全国との差が5ポイント以上の設問を一覧にし、その中から出題の趣旨が共通している設問に網掛けをしています。

網掛けをした設問については、次ページから改善方策等を示しています。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		北海道(公立)		全国(公立)		正答率の全国との差	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)		兼解答率(%)
H21	1二(1)	漢字を書く(びょういんに行く)				○					○	○	66.2	10.6	78.1	5.9	-10
H21	1二(2)	漢字を書く(人の意見にさんせいする)				○					○	○	67.6	15.2	78.3	8.7	-11
H21	1二(3)	漢字を書く(重い石をほこぶ)				○					○	○	72.4	17.2	80.6	10.1	-8
H21	2_2	ローマ字で書く(たべもの)									○	○	43.3	24.6	45.5	19.2	-2
H21	2_3	ローマ字を読む(happa)									○	○	44.9	36.8	51.9	29.3	-7
H21	5	文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する									○	○	55.6	0.9	58.7	0.7	-3
H21	7	司会の進め方の良いところを説明する	○				○	○				○	62.6	20.8	63.0	15.2	-5
H21	8	接続語を使って一文を二文に分けて書く									○	○	11.2	39.2	14.7	30.2	-4
H20	1二(1)	漢字を書く(ボールをなげる)				○					○	○	75.0	14.4	82.6	8.5	-8
H20	1二(2)	漢字を書く(かぜをよぼよぼする)				○					○	○	53.6	24.1	63.0	17.2	-9
H20	1二(3)	漢字を書く(駅まで歩いておうぶくする)				○					○	○	51.9	14.5	64.4	8.6	-13
H20	2一(1)ア	漢字を書く(同音異義語:会場)									○	○	54.5	25.9	58.1	21.4	-4
H20	2一(1)ウ	漢字を書く(同音異義語:聞場)									○	○	33.9	21.9	36.8	18.7	-3
H20	2二	漢字を書く(同訓異義語:かえり)									○	○	33.0	9.5	90.1	5.2	-7
H20	3	文章を読み返して、書き直したほうがよい理由と方法を選択する									○	○	33.2	2.6	33.7	1.9	-1
H20	4	似た意味の言葉の使い分けとして適切な説明を選択する									○	○	49.3	1.7	53.1	1.3	-4
H20	6	下書きの文章と発表原稿とを比べ、工夫したところを書く	○									○	87.8	14.9	74.1	10.5	-6
H20	7	グラフから分かったことをメモに取る									○	○	40.9	14.9	47.5	10.9	-7
H20	9一	文章中の表現について言い換えた部分を抜き出す									○	○	35.5	44.9	40.6	37.4	-5
H20	9二	筆者が伝えたいこととして適切な内容を選択する									○	○	42.9	35.1	48.5	27.9	-6
H19	1二(2)	漢字を書く(先生にそうなんする)				○						○	49.4	12.6	58	7.7	-9
H19	1二(3)	漢字を書く(魚を空く)									○	○	61	8.2	70.7	4.6	-10
H19	5	一文を二文に分けて書く					○	○			○	○	55.8	5.2	57.8	4.4	-2
H19	6	インタビューのメモの工夫を選択する	○								○	○	52.1	0.8	57.5	0.6	-5
H19	7	スピーチでの聞き手に分かりやすい話し方を選択する	○								○	○	54.7	1	55.7	0.8	-1

○ 改善方策について

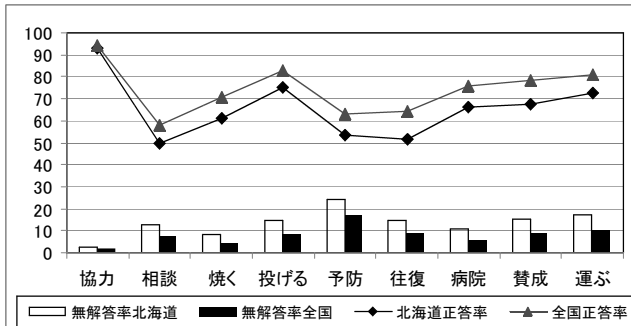
【小学校国語 A】

言語事項

【現状】

- 3年間に出题された漢字を書く問題では、全9問中7問で無解答率が10%を超えており、全国と比べ、無解答率が高い。
- 質問紙調査における「新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしているか」という質問に対する「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」の回答率を全国と比較すると、平成19年度は2.8ポイント、平成20年度は4.0ポイント低い。(平成21年度は同様の質問なし。)

漢字を書く問題の正答率と無回答率



<参考> 出題された漢字の配当学年

年度	問題	配当学年
H19	協力	「協」(4)「力」(1)
	相談	「相」(3)「談」(3)
	焼く	「焼」(4)
H20	投げる	「投」(3)
	予防	「予」(3)「防」(5)
	往復	「往」(5)「復」(5)
H21	病院	「病」(3)「院」(3)
	賛成	「賛」(5)「成」(4)
	運ぶ	「運」(3)

【課題】

- 学習した漢字を使って書くことに課題がある。

【改善方策】

- 文や文章の中で漢字を適切に使うことができるようにする。
 - ・ 漢字単独の読みだけではなく、実際の文や文章の中で漢字を読む機会を充実させる。
 - ・ 漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、当該学年の前の学年までに学習した漢字を意識して使ったりする習慣を付ける。
 - ・ 「収める」「納める」「治める」など、同音異義語に注意して使う習慣を付ける。
 - ・ 書いたり読んだりする活動などにおいて、意図的に習得させるべき漢字や語句を取り出して指導する。
- 語彙力を高める。
 - ・ 学習した漢字が日常生活の中でどのように使われているかを調べる学習を行う。
 - ・ 既習の漢字を積極的に使う習慣を付ける。
 - ・ 「昔話」「自転車」などのように、配当学年が異なる漢字で構成されている熟語について、振り仮名を付けて提示する機会を増やし、語句の読みと意味の理解を深める。
- 国語辞典や漢字辞典を利用する。
 - ・ 書けない漢字を自分で辞書を使って調べるなど、日常的に辞書を使う習慣を付ける。
 - ・ 各教科等の学習や日常生活でも積極的に辞書を使う習慣を付ける。

○ 改善方策について

【小学校国語 A】

書くこと、読むこと、言語事項

【現状】

- 「一文を二文に分ける」など、文や文章の構成に関する問題の北海道の正答率は、平成19年度は11.2%、平成20年度は33.2%、平成21年度は55.8%と3年とも60%未満である。また、無解答率は、平成19年度は39.2%で、全国と比べて9ポイント高い。
- 質問紙調査における「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫しているか」という質問に対する「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の回答率は、平成20年度、21年度ともに約55%である。（平成19年度は同様の設問なし。）

文や文章の構成に関する問題の概要 H21

- ⑧ ③の文について、「だから」を使って2つの文に分けて書き直すことにしました。「だから」を使って2つの文に分けたときの前の文の終わりの7文字と後の文の始めの7文字を書きましょう。

【文章の一部】

①放送委員会の役員を決める話し合いをした。②ぼくは、委員長を任されることになった。③新しく委員になった5年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

□□□□□□□。だから □□□□□□□

文や文章の構成に関する問題の概要 H20

- ③ 書き直したほうがよいと思った理由と、どのように書き直したほうがよいかを説明したものと、ふさわしいものをあとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

①わたしは、6年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。②しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。
③そこで、先生に相談すると、「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとういすね。」と話してくださったので、花が好きなのところを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいきれいな学校にしようと思った。

- 1 ②の文には、「だれが」という主語がぬけているから、主語となる「先生」を書き足したほうがよい。
- 2 ③の文は、「～ので」が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いたほうがよい。
- 3 ③の文の「 」の部分は、先生が話した言葉だから、(話してくださった)まで、「 」に入れたほうがよい。
- 4 ①から③までの文は、述語が「～した」になっているから、「です」や「ます」を使ったほうがよい。

【課題】

- 文や文章の構成を理解して、相手に伝わるように的確に表現することに課題がある。

【改善方策】

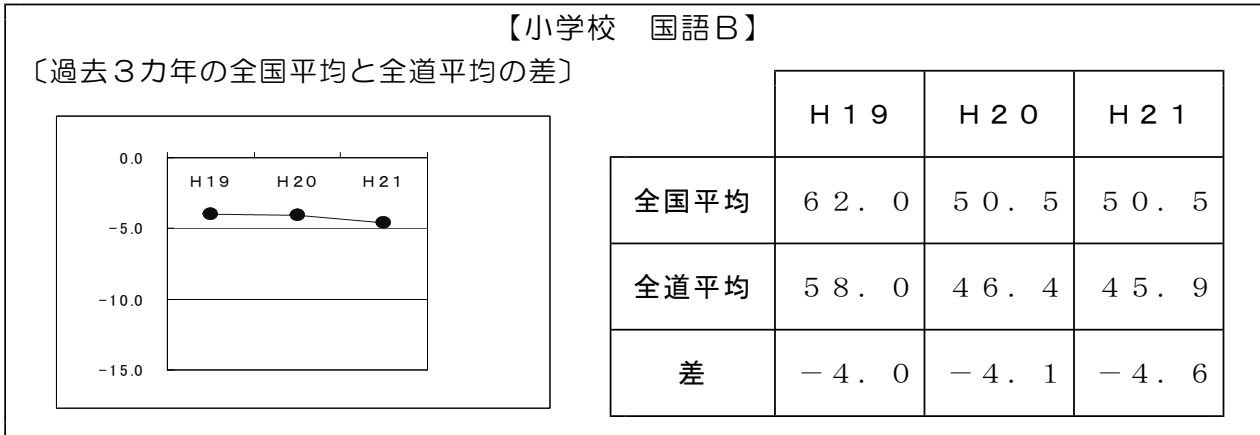
- 学年の段階に応じて文や文章の構成を理解できるようにする。
 - ・第3・4学年では、主語と述語の関係や修飾と被修飾の関係をとらえ、「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」などの関係による文の構成について初歩的な理解をすることができるようにする。
 - ・第5・6学年では、文の中での語句の係り方や主語と述語、修飾語と被修飾語などの照応の仕方を理解し、単文、重文、複文などいろいろな文の構成があることについて理解できるようにする。
- 相手や目的に応じて表現を工夫する力を高める。
 - ・自分が伝えたいことを明確にし、接続語や文末の表現を工夫しながら簡潔に伝えることができるようにする。
 - ・目的や意図に応じて、一つの内容を一つの文に簡潔に書いたり、必要に応じて二つ以上の内容を一つの文にまとめて書いたりすることができるようにする。

イ 3年間継続して課題となっている設問の分析と改善

【小学校国語B】

○ 経年比較

小学校国語Bにおける全国と全道の平均正答率の差について、過去3年分の比較をしています。



○ 3年間継続して課題となっている設問の状況

3年間の設問別調査結果の中から、平均正答率が60%未満の設問と正答率の全国との差が5ポイント以上の設問を一覧にし、その中から出題の趣旨が共通している設問に網掛けをしています。

網掛けをした設問については、次ページから改善方策等を示しています。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		全国の正答率との差	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
H21 1一	報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く	調べた内容を見通して、必要な事柄を整理する		○								○			8.1	24.9	11.4	20.8	-3.3
H21 1二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く				○							○		13.9	18.0	17.7	12.6	-3.8
H21 2二	「そうじや整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	自分の立場や意図を明確にして話し合う	○				○							○	22.0	17.1	25.7	11.7	-3.7
H21 3一	説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する	筆者の表現の工夫に着目して読む			○								○		51.2	12.5	56.1	8.8	-4.9
H21 3二(1)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる			○								○		57.5	16.0	62.8	11.7	-5.1
H21 3二(2)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる			○								○		43.2	22.8	50.9	16.4	-7.7
H21 4ニア	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する	○			○	○	○	○				○		52.6	18.5	57.3	13.4	-4.7
H21 4ニイ	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する	○			○	○	○	○				○		57.0	21.8	62.0	15.8	-5.0
H20 2一イ	物語の冒頭部分を読んで、おかあさんグマについての特徴を書く	二つの物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえる		○									○		49.6	12.2	52.2	9.7	-2.6
H20 2二	おかあさんグマに入った春の訪れについての描写を書く	場面についての描写をとらえる			○								○		45.5	13.4	49.3	10.9	-3.8
H20 2三	「わるいこと」という場面の様子をとらえ、おかあさんグマの心情を書く	登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読む		○									○		38.0	29.4	45.0	22.7	-7.0
H20 3一	「図書館だより」から、6年生が読書相対をすることが出来る曜日と時間帯を書く	目的に応じて必要な情報を取り出し、整理する											○		34.5	5.2	39.2	3.8	-4.7
H20 3二	「図書館だより」のグラフから分かったことを基にし、テーマや条件に即して自分の考えを書く	目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書く			○								○		25.5	24.9	32.8	17.8	-7.3
H20 3三(1)	「図書館だより」の内容を案内状に書き換える(案内状の題名)	目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書く			○									○	39.1	14.5	41.3	11.1	-2.2
H20 3三(2)	「図書館だより」の内容を案内状に書き換える(行事の内容)	目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書く			○									○	26.7	28.6	32.4	21.6	-5.7
H20 4アイウ	二つの意見文を比べて読み、文章の組み立てとして適切な内容を選択する	意見文を書くために、二つの意見文を比べて読み、文章全体の組み立ての違いをとらえる		○	○								○		55.9	16.1	59.4	12.7	-3.5
H20 4エオカ	二つの意見文を比べて読み、文章の組み立てとして適切な内容を選択する	意見文を書くために、二つの意見文を比べて読み、文章全体の組み立ての違いをとらえる		○	○								○		33.0	18.5	35.6	14.9	-2.6
H19 1二	司会者の進行の良いところを書く	司会者として発言者の意見や提案を受け止め、出席者が納得いくように進行する	○					○	○						74.6	9.5	79	6.9	-4.4
H19 2一	グラフを読み取り、文章中の空欄に適切な数字をあてはめる	文章とグラフにまとめられた事実を関係付けて読む			○									○	56.8	3.2	60.8	2.2	-4.0
H19 2二	古紙の再生利用が重要な課題となってきた理由を書く	取り上げられた事実が、どのような理由で述べられているかについての的確に読み、その理由を要約する		○	○				○	○					40	5.3	45.4	4	-5.4
H19 2三(1)	古紙を回収に出すときに守ることを新聞に書く	情報の中から必要な事柄を取り出し、新聞の一部に注意点として書き換える		○	○				○	○					44.1	15.6	49	11.5	-4.9
H19 2三(2)	ごみを減らすための取り組みを考えて80字以上120字以内で書く	自分の考えを決められた字数で、記事として具体的に提案する		○	○				○	○					65.9	15.6	75.2	10.4	-9.3
H19 3一(1)	同じ本を読んで書いた2人の感想文から、共通する書き方の良いところを書く	二つの文章を比べて読み、共通する書き方の良さや工夫を評価し、自分の考えとしてまとめる			○								○		52.2	18.5	55.9	13.2	-3.7
H19 3一(2)	同じ本を読んで書いた2人の感想文から、共通する書き方の良いところを書く	二つの文章を比べて読み、共通する書き方の良さや工夫を評価し、自分の考えとしてまとめる			○								○		50.8	24	54.9	17.5	-4.1
H19 4一	広告の情報を読み取って、正しい内容を選択する	広告の情報を的確に読み取り、正しく説明する			○									○	59.2	9.1	62.8	6.7	-3.6

○ 改善方策について

【小学校国語B】

読むこと

【現状】

- 「取り上げた事実がどのような理由で述べられているかについての的確に読み、その理由を要約する問題（平成19年度）」や「目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを書く問題（平成20年度）」、「目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる問題（平成21年度）」など、内容を的確に読み、根拠に基づいて自分の考えをまとめる問題の正答率は、いずれも60%未満であり、全国と比較して、5ポイント以上低い。また、無解答率も全国と比べて高い。

的確に読み、根拠に基づいて自分の考えをまとめる問題の概要（H21）

① 「はじめに」の中に書いてある筆者の考え
 「お礼100点、行動50点」よりも、「お礼50点、行動50点」の人のほうが、ずっと立派です。

② 「おわりに」の中に書いてある筆者の考え
 マナーについての知識は十分であるのに、全く行動しない人よりも、マナーやルールには、もうワンランク上のむずかしい点があるわけです。

③ 上野さんの学級では、マナーに関する本を読んだ、自分の考えをまとめることにしました。上野さんは一冊の本を読んだ後、本の「はじめに」と「おわりに」とを合わせて読んで、内容を確かめることにしました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

二 上野さんは、「はじめに」と「おわりに」の中に書いてある筆者の考えを次のようにノートにまとめてみました。あとの問いに答えましょう。

「上野さんのノートの一部」

（1）上野さんは、ア——部を自分の言葉で書きかえることにしました。Aの中に入るふさわしい内容を筆者の考えに合わせて書きましよう。

（2）上野さんは、イ——部をよく理解するために書きかえることにしました。Bの中に入るふさわしい内容を筆者の考えに合わせて書き出しの言葉に続けて、六十文字以上八十文字以内まとめて書きましよう。（書き出し）

さらに、マナーやルールのむずかしい点は、

【課題】

- 内容を的確に読み、根拠に基づいて自分の考えを効果的にまとめることに課題がある。

【改善方策】

- 表現の工夫に着目して読む力を高める。
- 書かれている話題やそれに対する筆者の意見、その意見の根拠をとらえるなど、正確に読むことができるようにする。
 - 文や文章の構成、語句の使い方、文末表現などを吟味して読む習慣を付ける。
- 目的に応じて効果的な読み方を工夫する。
- 速読や比べ読み、全体を概観しながら拾い読みする摘読、同じ課題で多くの本を重ねたり並行したりして読む多読など、多様な読みの中から目的に応じた読み方を選択させる。
- 様々な資料を関連付けて読む力を高める。
- 明確な課題に基づき、様々な種類の資料を取り上げながら、必要な情報を探し、取捨選択して活用することができるようにする。
 - 取り出した情報を基に、自分の考えを書く活動を充実させる。

○ 改善方策について

【小学校国語B】

話すこと・聞くこと、書くこと

【現状】

- 「自分の考えを決められた字数で記事として具体的に提案する問題（平成19年度）」や「目的に応じて情報を読み取り効果的に書く問題（平成20年度）」、「目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する問題（平成21年度）」など、相手や目的、意図を明確にして話したり書いたりする問題4問のうち3問において、正答率が60%未満である。また、無解答率が全国と比べて7ポイント以上高い。
- 質問紙調査における「解答を文章で書く問題について、すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が平成20年度、平成21年度ともに、全国と比べて低い。（平成19年度は同様の質問なし）

相手や目的、意図を明確にして話したり書いたりする問題の概要（H20）

二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、ウのところでどのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

【話し合った記録の一部】

(略)

【条件】

- 話し合いのテーマに合わせて、グラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを書くこと
- 分かったことについて、木村さんの発表と同じにならないこと
- 八十字以上百字以内にとめて書くこと

③ 図書委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用するようになればいいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましよう。

【課題】

- 相手や目的、意図を明確にして話したり書いたりすることに課題がある。

【改善方策】

- 意図が伝わるように話す力を高める。
 - ・ 事物や事柄といった静的なものの説明や、手順・方法といった動的なものを説明する機会を意図的に取り入れる。
 - ・ 目的や意図に応じて説明したことが、相手に理解されているかを確認めたり助言をもらったりする機会を取り入れる。
- 目的や条件に応じて効果的に書く力を高める。
 - ・ 記録、報告、説明、感想など、多様な様式を用いて書いたり、必要な情報を書き換えたりする言語活動を計画的に行う。
 - ・ 字数、構文などの条件に応じて話したり書いたりする習慣を付ける。
 - ・ 必要な情報を取り出し、その情報を基に自分の考えを書く活動を充実させる。